

【愛西市議12月定例会】

市長や議員の報酬引き上げに反対

国民健康保険税、5年で1.5倍値上げ

50億円の巨額投資の道の駅周辺整備の見直しを

愛西市議会12月定例会は、17議案と追加上程された9議案と意見書案3件を可決して閉会しました。主な議案について紹介します。

市長や議員の報酬引き上げ2.76%

○議案第57号愛西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

○議案第58号愛西市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

○議案第59号愛西市教育長の給与及び旅費に関する条例一部改正について

明けましておめでとうございます

昨年は、衆議院選挙で自民公明が過半数を割り、野党の声、国民の声を聞く新しい政治プロセスが始まりました。

今年には愛西市長選挙と参議院選挙の年です。市長選挙では、市民には自己負担を求め福祉を削り、大型の「道の駅」事業では予算をどんどん使う愛西市政の転換をはかりましょう。

参議院選挙では「日米同盟」財界優先の自民公明の政治を終わらせ、野党の政治、国民の声を聞く政治を実現しましょう。

日本共産党は、「国民の苦難の軽減」のため、市民と野党の共闘のため頑張ります。今年もよろしくお祈りします。

2025年新春

日本共産党愛西市議団

市議会議員 河合克平

市議会議員 真野和久

日本共産党愛西市委員会

委員長 加藤敏彦



市議会に上程された職員の市長・副市長・教育長・議員給与を2.76%引き上げる議案に日本共産党市議団は反対しました。物価高に苦しむ国民感情に配慮し、国では首相や閣僚らの報酬は据え置きました。なぜ愛西市でできないのでしょうか。職員の給与引き上げには賛成しました。



国保税、一人年間15万7824円へ

○議案第60号愛西市国民健康保険税条例の一部改正について

愛西市は、国民健康

保険税を令和5年から令和10年までに50%をこえる値上げを行う予定です。平均一人9万5375円から15万7824円となります。



日本共産党市議団は、社会保障としての国民皆保険制度をまもっていくためにも負担の軽減を求め、値上げに反対しました。

福祉や教育などの公共施設は直営で

○議案第64号愛西市佐屋老人福祉センター「湯の花の里」の指定管理者の指定について

○議案第65号愛西市佐織総合福祉センターの指定管理者の指定について

○議案第66号愛西市中央図書館の指定管理者の指定について

日本共産党市議団は、佐屋老人福祉センター、佐織総合福祉センター、中央図書館に指定管理について反対しました。

福祉や教育などの市民サービスを行う公共施設に関しては、市が責任を持って直営で運営すべきであると考えます。指定管理制度は、本来市が雇用すべき人員を、運営する管理者が安く雇用している。指定管理期間がため、雇用も不安定になる。また、運営責任も指定管理者になってしまう点や市が直接市民の状況を知る機会を減らし、サー

ビスのノウハウを失います。

○議案第67号令和6年度愛西市一般会計補正予算(第7号)

日本共産党市議団は、来年度入学生定の障害のある児童、生徒のために学校を改修することや、学校、公共施設などの光熱費高騰による予算の増額、産地パワーアップ事業などは必要であると認めるが、議案64号から66号の指定管理の更新に関する予算があるため反対しました。

50億円の巨額投資の道の駅

観光拠点施設・備品購入・再整備

○議案第62号道の駅備品(産直POSレジシステム)購入契約の締結

○議案第63号道の駅再整備工事(既存棟改修)請負契約の締結について

○議案第72号観光拠点施設建築工事請負契約の締結について

○議案第73号道の駅再整備工事請負契約の変更契約の締結について

50億円の巨額投資の道の駅周辺整備の産直施設の備品購入1500万円、既存棟の改修工事4億円、観光拠点施設建築工事9億円、再整備工事の請負契約変更であり三分の一の契約になり、日本共産党議員団は反対しました。

